

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 病理診断科・内田士朗

聖路加国際病院もしくは予防医療センターで大腸癌と診断された方を対象とした研究

1.研究の対象

2010年から2017年に当院または附属予防医療センターで内視鏡検査を受け、初回検査で癌が発見されなかったが、2回目の検査で癌が発見された患者さん。

2.研究の目的・方法

現在では大腸スクリーニングにより多くの大腸癌が予防され、早期発見により治癒するようになってきています。しかしながら、従来のスクリーニング法では予防できない癌の一群が存在します。それらは検査後の推奨された期間を空けた次回検査前までに発見され、専門用語ではインターバルがん（中間期癌）といいます。このインターバルがんは発育が速く、早期から転移するなど予後が悪いことが知られていますが、その原因や特徴、どのような人がなりやすいかなど明らかになっていない点が多いです。それゆえ、インターバルがんの予防法は未だにないのが現状です。当院は民間病院で初めて人間ドックを開始し、予防医学を推進してきました。予防医学の観点からインターバルがんの予防法を確立することは重要と考えております。本研究では今までに聖路加国際病院、予防医学センターで診断されたインターバルがんの特徴を明らかにして、その予防法につなげることを目的といたします。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年9月1日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 《情報》 年齢、性別、病歴 等
- 《試料》 病理組織標本